

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	恵庭市子ども発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日	～	令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 82	(回答者数)	71
○従業員評価実施期間	令和8年1月26日	～	令和8年2月6日
○従業員評価有効回答数	(対象者数) 15	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

## ○分析結果

1	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや積極的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
2	定期的に強化されたプロセスツールを活用した発達評価を実施していることや、専門職と連携することによって発達を総合的な観点から支援することができま	定期的に発達評価を実施し、保護者と共有しています。これらの結果は支援方針を検討する際に活用しています。行動観察も含めて総合的な評価のもと、適切な支援につなげています。	お子さんの状況を把握するとともに、保護者の意向を汲み取りながら丁寧かつ適切な支援に努めてまいります。お子さんが喜んで通所し、保護者が相談しやすい関係を築いていきます。プロセスが定まって地域の中でお子さんとその家族が安心して生活することができるよう、引き続き関係機関との連携を進めてまいります。
3	地域との関係機関と連携を積極的におこなっています。就園や就学など、お子さんのライフステージに合わせた連携体制が整っています。	保育所等に訪問したり、支援会議で園と情報交換する機会を持ち、共通理解を図っています。就学については、学習会や学校見学、引継ぎ（連携会議）など小学校との連携も積極的におこなっています。	研修等の積極的な参加で、職員がスキルアップする機会を作り、人材育成を図ります。事業所としての理念を職員間で共有し、同じ方向で属の他業支援が継続して提供できるよう努めてまいります。

1	事業所の強み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
2	質の高い支援を継続的に提供するためには、専門的な支援の充実を図る必要があります。	お子さんの適切な支援や、保護者への相談に対応するために、人材育成が必要と感じています。新任若しくは経験の浅い職員が配置された時は知識・技能を得るまでに時間がかかります。	研修等の積極的な参加で、職員がスキルアップする機会を作り、人材育成を図ります。事業所としての理念を職員間で共有し、同じ方向で属の他業支援が継続して提供できるよう努めてまいります。
3			